

NPO 法人はりま里山研究所 2021 年度第 1 回 通常総会開催のご案内

日時 2021 年 5 月 8 日(土) 11 時 00 分から 11 時 30 分

場所 兵庫県姫路市香寺町須加院 2-847 里山ガーデン内 (Web 併用)

議案 2020 年事業報告及び収支決算、2021 年度事業および収支予算案、役員の再任、その他の議案
別紙「議案書」による

なお新型コロナウイルス感染拡大防止のため屋外での総会とし、少人数とするため委任状の提出もしくは書面表決をお願いします。Zoom での参加も可能とします。

----- 切り取り -----

委任状 書面表決

2021 年 月 日

NPO 法人はりま里山研究所 2021 年度第 1 回 通常総会の議事について

議長 代理人 () に

議決を委任します。

事前に提案された議案に賛成します (書面表決)。

住所

氏名

委任か書面表決のいずれかにチェックをお願いします。

メール等での委任状送付も可能です。フォーマットは任意です。

Zoom 参加可能

NPO 法人はりま里山研究所 2021 年度第 1 回通常総会議案書

日時 2021 年 5 月 8 日(土) 11 時 00 分から 11 時 30 分

場所 兵庫県姫路市香寺町須加院 2-847 里山ガーデン休憩所 (zoom 参加可)

開会のあいさつ

会議の成立

議長選出 議事録署名人の指名

審議事項

第 1 号議案 2020 年度事業報告

第 2 号議案 2020 年度活動計算書報告および監査報告

第 3 号議案 2021 年度事業計画案

第 4 号議案 2021 年度活動計算書案

第 5 号議案 役員の再任・変更

第 6 号議案 2021 年度会費の件

第 7 号議案 借入金の限度額

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会議時間の短縮を予定しています。

事前に試資料をご覧の上、質疑・書面表決の提出をお願いします。

総会終了後、密を避けた簡単な懇親会を予定しています。

第1. 2020年度 NPO法人はりま里山研究所 事業報告

1. 今年度事業の経緯

里山フィールドで2006年(平成18年)より続けている里山保全活動を継続して行い、その場でプレーパーク事業「里山ガーデン子どもの冒険ひろば」の開催や子ども対象の活動を継続して行った。また春のサクラまつりやオープンガーデン等の花と緑を通した地域交流事業により、地域の住民や子どもたちに里山や身近な環境や科学に対する意識の向上を図ることを目的として事業を行ってきた。しかしながら新型コロナの感染拡大が2020年度内では収まらず多くに事業を縮小しました。また林田川では川を流れる取り組みを行いました。サイエンスカフェや子ども食堂の事業も中止やテイクアウトでの実施と縮小しています。当法人と一緒にとなる姫ヶ丘緑の会の助成事業である里山の駐車場等の芝生化により姫ヶ丘里山パークの公園としての整備を継続して進めることができた。また講師謝金補助や森の秘密基地づくりの事業も継続実施しました。

2. 事業内容

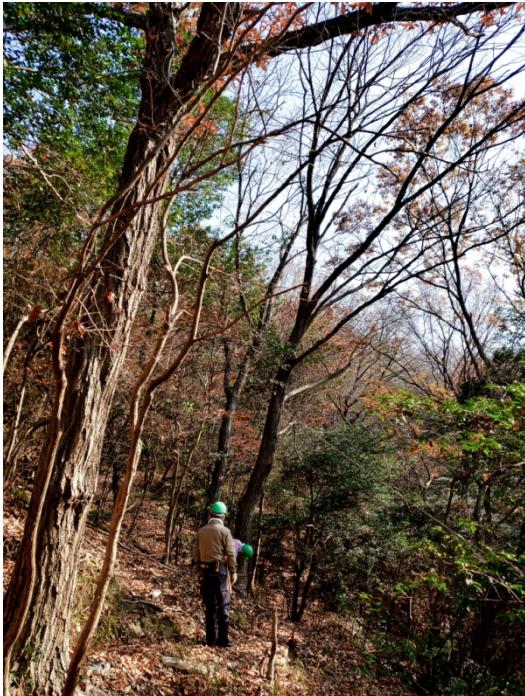
定款に掲げる特定非営利活動事業を中心とし、2020年4月～2021年3月の間に活動を行った。

事業は、①里山から里海までの保全活動 ②里山ガーデン子どもの冒険ひろば ③子ども食堂 ④サイエンス・カフェ ⑥姫ヶ丘里山パークを中心とした花緑活動 ⑦連携教育活動支援 ⑧揖保川プロジェクトの実施 ⑨その他支援活動。

1 里山から里海までの環境保全活動（2006年開始）

毎月1回の定例のプレーパークに連携した里山整備を行った。里山整備の参加人数は1回あたり2-3名。

川の活動として2014年から協力を行っている身近な水環境の全国一斉調査を6月に須加院川及び林田川・揖保川にて実施した。里川をフィールドとして保全活動を実施しました。



里山整備の様子、コナラの伐採の様子
捕獲したイノシシ



2 里山ガーデン冒険ひろば

兵庫県青少年本部の補助金により実施（1件の補助2014年度より継続）

プレーリーダー配置のイベント型プレーパークは原則毎月第3日曜日13時～16時開催。プレーリーダー配置なしで常時開催となっている。

「自分の責任で自由に遊ぶ」をコンセプトに、プレーリーダーのサポートのもと、子どもたちは里山を思い切り満喫。兵庫県青少年本部の補助金を活用したプログラムでは原則月1回プレーリーダーを配置してプログラムや冒険広場のエリア整備と自由プレーパークを実施。今年度はメインのプレーリーダーを中心にして、学生団体とともに企画運営を行いました。

学生プレーリーダーの参加はコロナで中止となり、連携活動は縮小せざるを得ませんでした。

参加者の子どもたちや保護者との交流により、学生にとっても参加者にとっても、大変学びの深い機会を提供できたと思います。小学校等へのチラシ配布はもちろん、継続と口コミ効果、SNS拡散効果を合わせ、近所の子ども以外の参加者も増えてきました。

里山の豊富な資材と十分な広さにより、心身ともに解放される子どもが多くみられ、またプレーリーダーが見守る安心感のなかで、初めて出会う子どもや学生同士すぐに仲良くなり、参加者みんなが協力して1つのものを作り上げたり、チームでゲームを繰り広げたりという姿も見られ、本来の人間関係とコミュニケーションを学ぶ貴重な時間となったと思います。

新型コロナウイルス感染拡大により、子どもの休校措置がとられたため、緊急支援活動として特別プレーパークを実施しました。

プレーリーダー配置のプログラムは53回、参加人数のべ709名と例年の参加者数を維持している（学生主催の未報告分は除く）。常時開催の参加人数は未集計であるが総計1000名以上あると思われる。子どもだけで無く中学生の訪問も見られる様になった。中学生はサバイバルゲーム等を行ってBB弾を発射するなどしている。

体制としてメインプレーリーダー1名、プレーリーダー2名程度、隨時協力するプレーリーダーの体制で実施。また城見が丘保育園児の訪問や近隣の児童の訪問があった。



保育園児の訪問↑
プレーパークの様子

プレーパークの様子

6月 21日 大きなスコップで穴ほり！

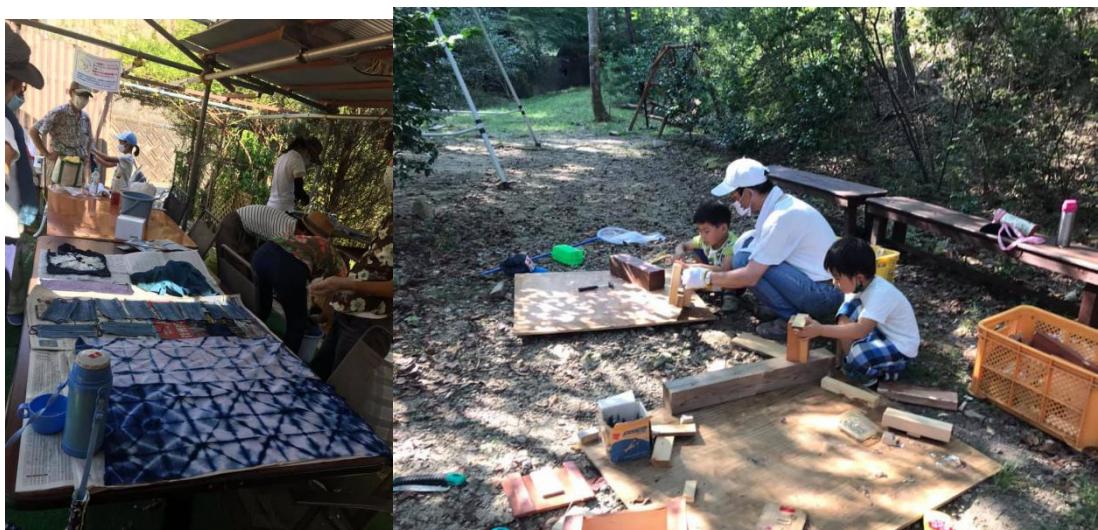
7月 19日 水てっぽうの的あて遊び



8月 8日 林田川のプレーパーク 川を流れる 林田川プロジェクト



8月16日 夏休み木工工作での藍染め体験



9月20日 里山地図と森のなぞとき





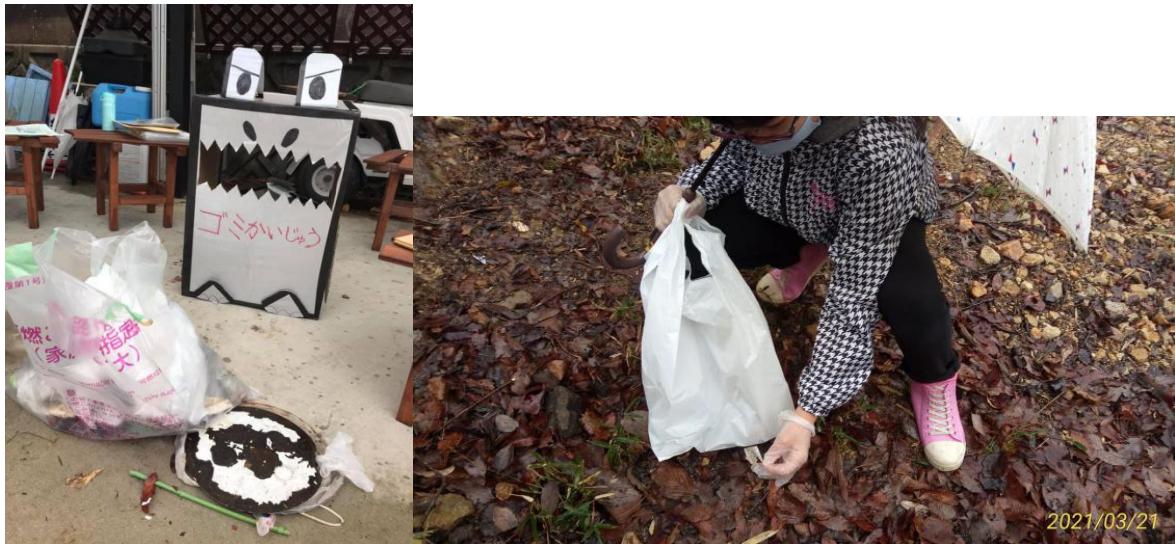
10月18日 森のお弁当ごっこ



12月20日 木の枝ツリーをつくろう 落ち葉プール



3月 21日 ゴミかいじゅうにえさをやろう！



■委託事業 兵庫県中播磨県民センターよりの委託事業

委託事業：環境学習に関わる他団体の講師派遣事業を兵庫県中播磨県民センターより受託し、事業を行った。

■参加者

小学生・保護者 11月 22日(18名)、11月 23日(22名)

■実施場所

「はりま里山研究所」および「はりま里山ガーデン」

④子ども食堂の開催

たつの市神岡町東觜崎の里山カフェで月1回の定例で開いている。親子のコミュニケーションの深まりや地域の交流を目指した活動である。コロナの関係で一部中止、主としてお弁当のテイクアウト形式で実施した。

⑤ サイエンス・カフェ

今年度はコロナの関係で5月 16日 (Web) 6月 28日、9月 6日、10月 11日 4回実施にとどまった。

⑥ 地域交流活動

花や緑を通した地域交流活動

2020年4月3日「さくら・つつじ祭り」、2020年5月22-24日「オープン・ガーデン」を実施したがコロナの関係で参加者はごく一部にとどまった。

⑦大学等との連携活動

兵庫県立大学環境人間学部のフィールドワーク(尾崎教授)は Web で環境生物学実験 (大橋教授)は中止となった。香呂南小学校、城見ヶ丘保育園、兵庫県立加古川南高等学校のフィールド活動支援等を行った。

10月 28日から 30 日までの 3 日間行われた高校生対象のセミナーの様子。



⑧ 挿保川プロジェクト

コロナの関係で8月 8日、林田川での川を流れるイベントとして実施。密を避ける活動を行った。

⑨ その他

ピブリオバトル甲子園の実施

2021年1月31日 オンラインにて実施、里山サバイバルクラブとの共催で実施。

委託事業による里山体験学習活動詳細

環境に対する関心を高め、環境を大切にする心を育むため、青少年向けの体験型環境学習事業を開催する。

■内容

(1) 里山基地づくり

里山資源を材料として使用し、里山基地のプランを考え、設置作業を行う。

(2) 里山体験（自然体験）

里山資源を体験道具として使用し、自然体験を通じて、学びを実感する。

11月22日 集合前の様子



森の秘密基地づくり

5家族・グループでの基地の位置定めと素材集め（2家族連合もあり）

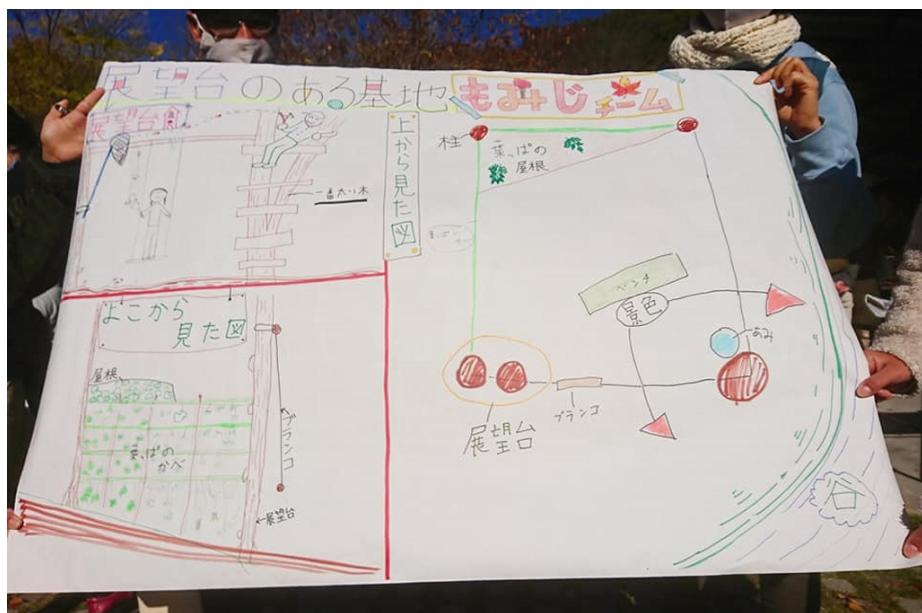


午前中のプログラム終了後、
昼食をとり
各家族毎に基地の設計図作成

11月23日の基地設計図の発表風景



各チームの秘密基地の設計図





発表会後の基地作成





表彰

参加賞



終了後の焼き芋体験

どんぐりのパチンコ遊び



3. 事業の成果

- 1 これまで同様、里山の保全活動を行うことにより、森林の環境が保たれ、遊具の修繕により子どもも安全に遊ぶことができた。また、保全活動を定期的に行うことによって、地域の方の参加を得ることに繋がった。
里山だけでなく里川の再生を目指す林田川プロジェクト（揖保川プロジェクト）を継続できた。
- 2 環境学習では中播磨県民センターからの事業委託（2件）、による環境学習の実施や他団体の支援の活動が行われた。また学生に学ぶ場を提供し、社会での活動や学習体験の一助となった。
- 3 花緑の活動では姫ヶ丘緑の会と姫ヶ丘里山パークの芝生化整備と一体となった里山整備を行うことができた。
- 4 大学との連携では学生のコロナの関係で中止を余儀なくされた。
- 5 冒険広場では常設のメリットから普段から子供たちが自然に訪れ、遊ぶ姿が見られるようになった。

4. 事業活動の問題点と解決策

専任の事務員がいないボランティア型NPOの為、事務処理については理事長への負担が残っている。.

多くの事業が新型コロナウイルスの感染拡大防止を受けて中止となった。今後Web型の併用も検討する必要がある。参加費を頂く事業については今後は里山企画の事業として設定するなどして、NPOの直接事業から徐々に切り離していく必要がある。

子ども食堂についてもNPOとしては支援のスタンスで進めるが支援の主体は里山企画となる。

里山整備事業は参加者が少なく、広報の人的余裕もないため今後も対応を検討していく必要がある。

感染症の拡大継続により、今後の事業展開も縮小維持していくとともにWebを使った取り組みを初めて行く必要性も考えられる。

活動計算書

2020年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日まで (単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	0		0
賛助会員受取会費	0		
2. 受取寄付金		75,066	
受取寄付金	75,066		
資産受贈益	0		
施設等受入評価益			
3. 受取助成金等			75,066
受取民間助成金	0		
受取公的助成金	420,000		
受託費	204,000		
4. 事業収益			624,000
サイエンス・カフェ事業収益	0		
地域交流事業収益	0		0
5. その他収益			
受取利息	0		
雑収益	0		0
経常収益計			699,066
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
印刷製本費	26,452		
賃借料	20,000		
水道光熱費	0		
諸会費	8,000		
諸謝金	503,000		
旅費交通費	15,000		
消耗品費	79,194		
委託費	22,000		
地代家賃	0		
通信運搬費	0		
雑費	0		
保険料	25,420		
食料品費	0		
その他経費計	699,066		
事業費計		699,066	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
保険料	0		
雑費	0		
その他経費計	0		
管理費計		0	
経常費用計			699,066
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産額			200,000
次期繰越正味財産額			200,000

法人名： NPO法人はりま里山研究所

財産目録

2021年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目・摘 要	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	0		
郵貯小口	0		
郵貯直			
たんよう	200,000		
流動資産合計	200,000		
2. 固定資産			
固定資産合計	0		
資産合計		200,000	
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0		
2. 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計		0	
正味財産		200,000	

法人名： NPO法人はりま里山研究所

貸借対照表

2019年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	200,000		
流動資産合計		200,000	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			200,000
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		200,000	
当期正味財産増減額		0	
正味財産合計			200,000
負債及び正味財産合計			200,000

第5号議案

役員の再任・変更

理事の再任について

再任 上田倫範、高谷武良、春名珠美

幹事の再任について

再任 木多見 哲夫

再任役員の任期について

再任役員については今回のみ1年とし、全ての役員の任期を統一する。

役員任期は2年 任期中に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までです。

NPO法人はりま里山研究所 役員名簿（2021年度）

役名	氏名(任期)
理事（理事長）	熊谷 哲（2022年まで）
理事（副理事長）	森川 格（2022年まで）
理事	上田 倫範（2022年まで）
理事	高谷 武良（2022年まで）
理事	春名 珠美（2022年まで）
理事	山瀬敬太郎（2022年まで）
監事	西谷 寛（2022年まで）
監事	木多見 哲夫（2022年まで）

役員以外の社員（正会員等）名簿

氏名	
和崎 宏	
藪口 康彦	（観察会担当）
岡田 源太郎	（広報担当）
熊谷 恵子	（花と緑の活動担当）
上條 鎮朗	（整備担当）
三山 茂夫	（サクラの名所担当）
神吉 智子	（里川担当）
井内 由美	
賛助会員	土川 忠浩（学生活動支援担当）
名誉会員	岡田 真水

第6号議案 2021年度会費の件

新型コロナウイルスの感染もあり活動が十分な形で開催できない点を勘案し、
2020年度に続き2021年度も免除とする。

第7号議案 借入金の限度額について

借入金の限度額を1,000,000円とする。借入先は法人理事長とする。

その他

事務局組織

事務処理体制の変更：助成金等を得て行う事業プロジェクト事務はそれぞれのプロジェクト担当をおいてプロジェクト内で処理する。

冒険広場（プレーパーク）担当：世良田ひとみ、藤浦剛、熊谷 哲

冒険広場整備担当：上條 鎮朗、熊谷哲

揖保川水域プロジェクト 担当：神吉智子、本田実、熊谷哲

サクラプロジェクト 担当：三山茂夫、熊谷哲

花緑中間支援 担当：熊谷恵子、春名珠美、熊谷哲